

困ったときは

シリーズ 教育相談 Q&A

最近子どもを叱ることが多くなり、どう接すればよいのか困っています。

Q 最近小学校三年生の子どもを、注意したり、叱ったりすることが多くなりました。先日も学校で忘れ物を注意されたという話を聞いているときに、「日頃からちゃんとしていないあなたが悪いでしょう」と生活態度を指摘したら、急に表情が変わり感情的になって、「どうせ、お母さんに話したらいつも悪者にされる。やっぱり話すじゃなかった。お母さんのバカ」と言いました。それに対して、私までもつい大きな声で、きつく叱ってしまいました。余計に腹を立てた子どもは大変な勢いで部屋を出て行きました。子どものこんな態度は初めてで驚いています。後でそっと子どもの部屋へ行ってみると布団にもぐって泣いているようでした。私自身気持ちにゆとりがなく、こんな時どうすればよいのか困っています。

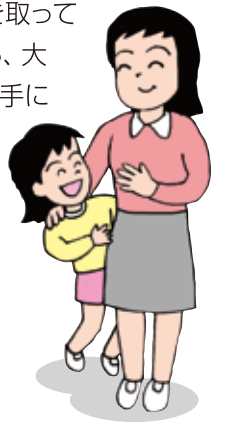
A お子さんは、忘れ物をして注意されたという自分にとって都合の悪いことを、なぜあえてお母さんに話したのでしょうか。お子さんにとって都合の悪いことでも、話せばちゃんと聞いてくれるお母さんだと信じていたからこそ、話したのではないのでしょうか。しかし、返ってきたのは、「あなたが悪い」という期待外れの言葉だったのでショックを受けたのだと思われます。「いつも悪者にされる」という言葉にはお母さんに対する不満があったのかもしれませんが。余計に腹を立てた態度からも、お子さんの思いが分かる気がします。だからこそ、布団にもぐり込んで泣き、やり場のない気持ちを、一人で処理していたのかもしれませんが。

お母さんはお子さんの態度に驚くとともに、泣いている姿に何かを感じられたのではないのでしょうか。気持ちにゆとりがなく話を十分に聞かないまま、「あなたが悪い」と言ったことに、どうすればよかったのか困っておられますね。

「お母さんもバカと言われて悲しかった。でも、ちゃんと話を聞いてあげようとしなかったお母さんのもっと悪かった。ごめんなさい」となるべく早くお母さんの思いを、きちんと言葉にして伝えてあげることができたらよかったですね。以心伝心という言葉がありますが、たとえ親子といえども、相手に分かるように伝えないとうまくいかないものです。まずは、相手の話を十分に聞いてから自分の思いを伝えることが大切です。その時、「私は〇〇と思うけど、あなたはどう思う?」と自分を主語にして言うと、うまく伝わると言われています。

ただ、お母さんが、時間にゆとりのない忙しい毎日を過ごされているのも事実です。お子さんの、お母さんに聞いてほしい、分かってほしいという今の気持ちに応えるにはちょっとした工夫が必要かもしれません。例えば、食事の支度中に話しかけてきたら、まずは、「なあに?」と言葉を返してみてください。急ぐことだったら包丁は置き、お子さんの方を向いてきちんと話を聞いてあげてください。忙しい時は、「これが終わるまで、ちょっと待っててね」と伝え、後で必ず時間を取って聞いてあげてください。お子さんの方から膝に座ってきたら、大きくなっていても、しっかりと抱きしめてあげてください。上手に甘えさせるチャンスです。お子さんの思いに応えるには時間の長さや量の多さだけではなく、質の高い接し方こそ大切です。

お子さんの気になる行動は、本当は困ったことではなくて、お母さんにどう接してほしいのか知らせてくれた心のサインだったと捉えると、お子さんの抱えている悩みや気持ちに応えるための、多くのヒントとなることでしょう。



相談窓口一覧 子育ての悩み・心配事 についてお話しませんか?

「うちの子が学校に行けなくなって心配です。」「子育てに自信が持てません。」「子どもを叩いてしまいます。」「…、いじめや不登校、子育てなど教育上の様々な問題で悩んでいませんか?」

県内にはそうした悩みを気軽に相談できるところがたくさんあります。次に紹介する相談窓口は、いずれも信頼できる機関であり、相談内容などの個人の秘密は固く守られます。相談は臨床心理士など専門的資質を備えた教育相談員や医師、学生ボランティアなどがあたり、電話相談や面接相談など相談方法も多様となっています。

ひとりで悩まず、気軽にあなたに合った窓口にご相談ください。

岡山県青少年総合相談センター ~ハートフルおかやま110~

6つの特色ある相談窓口が相互に連携し、青少年や保護者からのご相談に、迅速かつ的確に対応します。
ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/soudan/index2.htm>

相談窓口	電話番号	相談内容等	相談日時
総合相談窓口	(086)224-7110	電話・面接(要予約)相談 メール相談 sodan110@po1.oninet.ne.jp	8:30~23:00(時間外はメール) どんな相談もOK、他の窓口も紹介
教育相談	(086)221-7490	電話・面接(要予約)相談	8:30~23:00 非行、教育、性格、行動等の相談
進路相談	(086)224-1121	電話・面接(要予約)相談	8:30~17:00 不登校生徒や 高校中途退学者等の進路の相談
子ども ほっとライン	(086)235-8639	電話・メール相談 kodomo@fine.ocn.ne.jp	17:00(土・日・祝日は8:30)~ 23:00 学生ボランティアが受付
すこやか育児 テレホン	(086)235-8839	電話・メール相談 sukoyaka@po1.oninet.ne.jp	8:30~23:00 子育ての悩み相談
ヤングテレホン・ いじめ110番	(086)231-3741	電話・面接(要予約)相談 メール相談 youngmail@pref.okayama.jp	24時間受付(面接8:30~17:00) いじめ、非行、家出などの少年相談

学校問題相談窓口

学校と保護者との問題等の円滑な解決に向けて、ご相談をお受けしたり、アドバイスをしたりします。

相談内容	電話番号	相談日時
学校や市町村教育委員会と繰り返し話し合いをしても、問題が解決せずお困りの時にはご相談ください。	(086)226-7130	月・水・金曜日(祝日・年末年始を除く) 10:00~12:00, 13:00~15:00

岡山県総合教育センター

相談内容	電話番号	相談日時等
不登校・いじめなど学校生活に関する事 学業に関する事 家庭教育に関する事 など	(0866)56-9115	面接相談(要予約) 月・水・木・金曜日 9:00~19:00 火曜日 13:00~19:00 第2・第4土曜日 9:00~17:00 (長期休業中を除く) ※第2・第4土曜日は、登校して平日に 来所しにくい児童生徒の相談を優先します。
お子さんの発達や障害に関する事 障害のあるお子さんの学習面などの 学校生活に関する事 障害のあるお子さんの家庭生活に関する事 など	(0866)56-9117	電話相談(随時) 月・水・木・金曜日 9:00~17:00 火曜日 13:00~17:00
医師による教育相談	上記電話で相談予約	面接相談(要予約) 第4水曜日 16:00~18:00

※面接相談では、親子それぞれを担当する並行面接を行うことができます。来談者の約7割が親子並行面接を行っています。
※保護者の希望により学校、医療機関等との連携が可能です。
※医師による教育相談は相談日が変わる場合がありますので、電話予約の際にご相談ください。

教育相談室

臨床心理士などの専門的資質を備えた教育相談員が、不登校やいじめなどに関して、児童生徒、保護者等を対象に電話相談や面接相談を行います。

教育相談室名	電話番号	相談内容等	相談時間
倉敷教育相談室	(086)427-0244	電話相談(火~金曜日) 面接相談(火~金曜日 要予約)	9:00~ 16:00
高梁教育相談室	(0866)22-9833	電話相談(月・水・金曜日) 面接相談(月・水・金曜日 要予約)	
津山教育相談室	(0868)24-1424	電話相談(月・木・金曜日) 面接相談(月・木・金曜日 要予約)	

※面接相談については電話でお問い合わせください。

その他の主な相談機関

名称	電話番号	名称	電話番号
岡山県中央児童相談所 (岡山市にお住まいの方を除く)	(086)235-4152	子ども・家庭電話相談室 (岡山市にお住まいの方を除く)	(086)235-4157
岡山県倉敷児童相談所 (井笠相談室)	(086)421-0991	岡山市子ども総合相談所 (岡山市にお住まいの方)	(086)803-2525
(高梁分室)	(0865)69-1680	岡山県精神保健福祉センター (岡山市にお住まいの方を除く)	(086)272-8835
(高梁分室新見相談室)	(0866)21-2833	岡山市こころの健康センター (岡山市にお住まいの方)	(086)803-1274
岡山県津山児童相談所	(0868)23-5131	子どもの人権110番	0120-007-110
		岡山いのちの電話	(086)245-4343

■市町村教育委員会の相談所(室)・各地域の少年サポートセンター・青少年育成(補導)センターなど、このほかの相談機関については、ホームページをご覧ください。 [岡山県教育庁指導課](#) [検索](#) [← クリック](#)

■24時間対応 全国統一いじめ相談専用ダイヤル 0570-0-78310 児童・生徒のいじめについての相談 24時間受付